

YA 向け新刊



『ヨンケイ!!』

天沢 夏月／著 ポプラ社

ISBN : 978-4-591-16886-8 YA913 ア



慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に奇跡的に4人の男子スプリンターが揃った。インターハイを目前に控え…。チームワーク最悪の男子高校生たちが4×100mリレーに挑む青春小説。

ご一読を!

『5分で読書 驚愕のミライ』

カドカワ読書タイム／編 KADOKAWA

ISBN : 978-4-04-065985-5 請求記号 : YA913 コ

『神角技巧と11人の破壊者 上』

鎌池 和馬／著 KADOKAWA

ISBN : 978-4-04-913577-0 請求記号 : YA913 カ1

『14歳からの精神医学 心の病気ってなんだろう』

宮田 雄吾／著 日本評論社

ISBN : 978-4-535-98497-4 請求記号 : YA493 ミ

『紛争解決ってなんだろう』

篠田 英朗／著 筑摩書房

ISBN : 978-4-480-68393-9 請求記号 : YA319 シ

BOOK ADVENTURES

富士見市立中央図書館

2021.3 発行 第232号

〒354-0021 富士見市大字鶴馬 1873-1

TEL : 049-252-5825

FAX : 049-252-5839

HP : <http://www.lib.fujimi.saitama.jp/>

今月のテーマ

新たな1歩



1歩【いっぽ】

- ① 歩くため片方の足を一回前へ出すこと（により進む距離）。一足（ひとあし）。
「——山道を登る」
- ② 何かに向かって、一足進めること。
「民主政治への第一——〔＝第一段階〕だ」

引用『新明解国語辞典第8版』より

ISBN : 978-4-385-13078-1 請求記号 : R813.1 シ

『リスタート』

ゴードン・コーマン/著 千葉 茂樹/訳 あすなる書房
ISBN：978-4-7515-2939-3 請求記号：YA933 コ

夏休みに屋根から落ちて記憶を失ったチェース・アンブローズ13歳。アメフトのスター選手で、それ以上に相当な悪ガキだったらしい自分は、他人の人生をメチャクチャにしてしまっていた。記憶喪失になっていいヤツになったら、周りのみんなは彼を許せるのか？人生をやりなおせるのか？もしかしたら、記憶喪失になったつもりになれば誰でもやりなおし「リスタート」ができるかもしれない…と考えさせられる本。



『おやこで話すはじめてのLGBTs きみは世界でただひとり』
鶴岡 そらやす/著 一芒/イラスト 日本能率協会マネジメントセンター
ISBN：978-4-8207-2834-4 請求記号：YA367 ツ

「自分とみんなは違う」当たり前だけど、ついつい忘れてしまうこと。猫の視点で書かれるこの本は、そんな当たり前前のことを親子で考えるきっかけを作ってくれる。「みんなと違うのはおかしい」と思うのも当たり前だけど、そこから「本当かな？」と考えるのはすごく大事。小学生が読んでもわかりやすい本。



『いま、きみを励ますことば 感情のレッスン』

中村 邦生/著 岩波書店
ISBN：978-4-00-500577-2 請求記号：YA159 ナ

「新たな一歩」と聞いてどんなことを思い浮かべるだろう。わくわくすること？しかし、時には壁にぶつかってしまうこともあるかもしれません。そんなときに読んでほしいのがこの1冊。様々な本のことはたちが、きっとあなたの背中を押してくれる。



『なりたて中学生 初級編』

ひこ・田中/著 講談社
ISBN：978-4-06-219323-8 請求記号：YA913 ヒ



引っ越しが原因で、小学校卒業とともに誰も知らない中学校に入学することになった主人公成田テツオ。性格がヘタレなテツオは、自分なりに中学校での立ち位置を模索していく。この時期にぴったりの、卒業と入学のドキドキを描いた作品。全3部作。

『書の道を行こう 夢をかなえる双雲哲学』 武田 双雲/著
PHP 研究所 ISBN：978-4-569-68950-0
請求記号：YA728 タ



書道家の書いた本なので、色々な言葉が素敵な書で書いてあるイメージですが、手にとると少し違っていました。何かに向かって新たな一歩を踏み出そうとすると、「勇気」ではなく「肯定」してもらうことで歩みだせるということ。「今を生きる」を強く感じられる本。書に全く興味のない人でも双雲さんの思いを本の中に感じられる。

『詩を書くってどんなこと？こころの声を言葉にする』

若松 英輔/著 平凡社
ISBN：978-4-582-83796-4 請求記号：YA901.1 ワ



教科書で見るとようなキレイな言葉で書いてある詩は敷居が高い気がするけれど、実はそんな事はありません。本当に自分が思ったことを自分の言葉で書けば良い。それでもちょっと書き辛い時は本書を読んでみよう。詩を書く上での心得が載っています。迷った時はぜひ読んでほしい。